

			科目コード	219
科目名	老年看護学実習 (Clinical Practice in Gerontological Nursing)		開講学科	看護学科
選択区分	必修	単位数(時間)	3単位(135時間)	履修時期
				3年次後期又は4年次前期
担当教員	田中 昭子、永井 さつき、江崎 ひろみ		科目区分	専門科目
実習目的	老年期の対象を身体的・精神的・社会的側面から総合的に理解し、対象の健康レベルや状況に応じた看護実践に必要な知識・技術・態度を修得する。さらに対象のその人らしい生活を尊重し、できる限り自立した生活が送れるように援助する。また、これらの援助を通して自らの高齢者観を形成する。			
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 加齢や疾患による身体および精神機能の変化が対象の生活に及ぼす影響を理解し、援助を考えることができる。 2 老年期の対象を統合的に理解し、多様な健康レベルに合わせた援助ができる。 3 廃用性による機能低下や生活意欲の低下を最小限にし、できる限り自立した生活が送れるよう援助できる。 4 対象とその家族に倫理的な態度で接することができる。 5 対象とその家族に必要な社会資源の活用を配慮できる。 6 高齢者ケアに携わるチームメンバーと関わり、それぞれの役割を理解できる。 7 高齢者ケアにおける看護者の役割や自己の課題を考えることができる。 			

実 習 内 容	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習場所：伊予病院2～4階の一般内科病棟もしくは回復期リハビリテーション、老人保健施設 伊予ヶ丘 2～4階療養棟のいずれかの病棟もしくは療養棟に分かれて実習する ※3週間のうち、1日は、グループホーム 伊予の郷 で実習する(1日2～4名) ※各病棟・療養棟への配置については、実習開始前に周知する 2. 実習期間：3週間 3. 実習時間：原則として、8:30 - 16:30 4. 実習展開：詳細は実習要綱を参照 	
成績評価方法	自己評価表(100点)の項目について、実習内容および到達度、実習態度を点数化し評価する。
教科書	老年看護対象論、老年看護方法論、臨床病態学IVで使用したもの
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> 1 山田律子・井出訓「生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図 第2版」(医学書院) 2 堀内ふきほか「ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害」 同 「老年看護学② 高齢者看護の実践」(メディカ出版) 3 奥宮暁子・安川揚子・木島輝美「生活機能のアセスメントにもとづく老年看護過程」(医歯薬出版) 4 亀井智子「根拠と事故防止からみた老年看護技術」(医学書院)等
備 考	実習までに準備するものは、夏休み前にお知らせしますので、各自で準備してください。実習中は、ふれあい実習にて使用した実習ノートをファイルに綴じ、持参してください。